

事業計画・予算等を可決承認 令和3年第1回通常総会開催

実・強化をはじめ各種事業に取り組んでいく」と決意を語った。

令 和3年2月26日、日赤
会館会議室で令和3年度事

第1回通常総会が開催された。
議決事項として令和3年度事
業計画ならびに予算等について
審議され、議決事項31議案が
いずれも可決承認された。

総力を挙げて支援する

開会にあたり、あいさつに
立った本会の中芝理事長は、
冒頭で新型コロナウイルス感染
症の話題にふれ「感染者数が
減少傾向にあるものの、未だ
先を見通すことが困難な状況
が続いている」と述べた。

また、新型コロナ対策に係る
業務については、国の要請によ
り、これまで診療報酬の概算
前払いのほか、医療従事者等へ
の慰労金や支援金の支払い等を
行ってきたが、住民が住所地
外でワクチンを接種した場合の
費用の支払いについても、国保
連合会が担うこととなつたこと
を踏まえ「総力を挙げて支援
するとともに、本体業務であ
る審査支払業務のさらなる充

計画的で適正な財政運営を

議決に先立ち、事務局から
令和3年度事業計画ならびに
予算等について説明があつた。
最近の情勢では、報告の中で
審査支払業務改革における国
保総合システムの更改にふれ、
支払基金との共同開発やクラウ
ド化、システム一元管理等を
進めることで短期的に“かかり
まし費用”が生じることにな
り、結果国保保険者にとって
負担増となることを説明した

上で、現在の積立資産では不
足が見込まれるとし、令和4
年度以降のICT積立資産の積
み増しや手数料の引き上げにつ
いて理解を求めた。

議事は、慎重なる審議の結
果、31議案すべてが原案のとお
り可決承認された。

④ 開会のあいさつに立った中芝理事長



⑤ 令和3年度事業計画や予算等について審議する参加者

た基本方針では、既存事業の一層の充実強化に加え、新たな取り組みとして国保データベース（KDB）システムの活用促進にあたり、実機を用いた研修会を開催すること、また保険者における柔整療養費の適正化の推進を図るために、柔整審査委員会に直接確認委員会を設置することなどを説明するとともに、審査支払業務改革等に伴う負担増の影響で、一層厳しい財政状況が予想されることから、連合会としてさらなる経費削減と計画的かつ適正な財政運営を進めていくとの考えを示した。

3 国保わかやま No.210